

大庭 通嘉 議員

今後の白雲荘の利用は

問 シニアクラブから白雲荘継続利用の陳情が出されていたが、今後、何年活用が可能なのか。

答 物理的寿命は65年であり、耐震上も問題はなく、あと20年使える。今後、設備の機能低下の確認や不具合な箇所を適切に修繕し、利用形態を把握しながら、施設のあり方について検討していきたい。

問 人件費などを削減し、また、新たに利用者負担を求め、これまでの社会福祉協議会との指定管理料1800万円を1100万円に減額してシニアクラブに指定管理を求めて行くのは問題ではないか。

答 市の支援、協力を前提にシニアクラブが利用者の視点を活かし、1100万円で指定管理を受け入れていただくことでご理解いただいた。



白雲荘

障害者雇用の推進を

問 県内23市中最も低い障害者雇用率2.26%となっている。早急に改善すべきだ。

答 法定雇用率2.5%を下回る結果となったことは残念であり、市として恥ずべきことと思う。今後、市が障害者雇用に対して率先して取り組んで行く存在となるよう、積極的に行動していきたい。

佐野 武次 議員

避難所への空調施設の設置

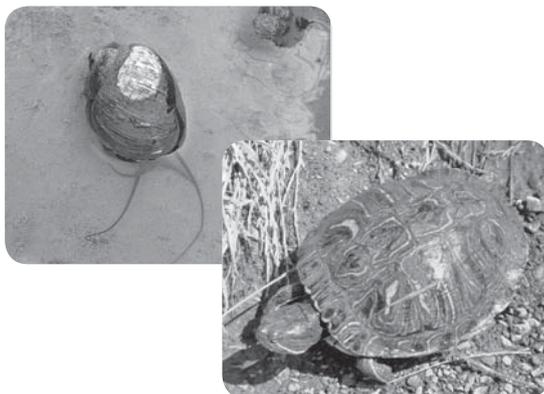
問 幼稚園や小・中学校等にクーラーを設置するが、避難所となっている小・中学校の体育館にも設置すべきではないか。

答 体育館などに空調設備がない場合には、避難者の体調不良も懸念されることから、今後、クーラーが設置されている教室の利用について、学校管理者と調整を進めていきたい。

自転車の安全利用に関する条例の制定

問 市では、自転車を活かしたまちづくり指針を定めて推進しているが、自転車保険の加入なども含め、施策をより理想に近づけるため、条例を制定すべきでは。

答 県でも、現在、条例の制定を予定している。市民も対象となることから、条例の内容について、高い関心を払って見ていきます。



ジャンボタニシとミドリガメ

外来生物への対応

問 本市でも、人体や農作物等に影響を及ぼしている外来生物が確認されている。今後の対応は。

答 ジャンボタニシは、耕作者に早めの防除徹底をお願いし、ミドリガメは、水稻等の被害や生態系にも影響があるため、今後、定期的に調査を行い、他の自治体の駆除方法も参考に、検討していきたい。